



2014年3月  
第11号

発行日 平成26年3月14日  
発行所 特定非営利活動法人  
フードコミュニティ目黒  
理事長 渥美 昭美  
〒152-0001  
東京都目黒区中央町2-32-5  
スマイルプラザ中央町  
TEL : 03-5768-0707  
FAX : 03-5768-0717  
E-mail : okowa@fc-meguro.com  
<http://www.fc-meguro.jp/>

## フードコミュニティ目黒のますますのご活躍を

目黒区長 青木 英二

フードコミュニティ目黒の皆様には、日頃から目黒区の障害福祉行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

フードコミュニティ目黒は、お弁当・おこわなどの自主製品の製造・販売をはじめ、商品の封入、菓子袋折りなどの受注作業を通じて、利用者の工賃アップと一般就労への移行に重点を置いた事業を展開されております。

就労継続支援B型事業では、利用者の工賃が平均3万2千円（月額）にもなると伺い、良い意味で驚かされております。これも、利用者の皆様の頑張り、スタッフや関係者のご努力の結果であると、心から敬意を表します。

今、障害者の就労に関する国の施策は大きく前進しています。平成25年4月から障害者の法定雇用率が引き上げられ、6月の改正障害者雇用促進法（施行は28年4月）では、事業主に対して、雇用分野における障害を理由とする差別的取扱いの禁止や、合理的配慮の提供を義務付けるなど、障害者の一般就労促進の動きが加速しています。

こうした好機を追い風として、就労継続支援はもちろんのころ、就労移行支援にもさらに力を注ぎ、一般就労拡大にご尽力くださいますようお願いいたします。

フードコミュニティ目黒の利用者、スタッフの皆様の今後ますますのご活躍を期待しております。

## フードコミュニティ目黒（FC目黒）の状況報告

フードコミュニティ目黒理事長 渥美 昭美

フードコミュニティ目黒は平成25年度『東京都福祉サービス第三者評価』を受審しました。利用者が福祉サービスを利用しようとした時に「自分が利用した事業所の特徴は」「サービスの質はどのような状態か」等が判るようにするものです。この広報誌にも第三者評価結果を出しておりますが「とうきょう福祉ナビゲーション」にも公表されております。さっそく私達も来年度からの事業改善計画の策定作業を始めています。

また、現在（就労継続支援B型事業）の工賃も平均で月32,000円を出しておりますが、東京都の工賃アップセミナーに何度も出席をして他施設の頑張っている様子等を知りFC目黒ではどうしたらよいか等職員と何度も話し合っ、関係企業、目黒区役所、さんまるしえさん他にもご協力を頂いてやっと30,000円を超えるようになりました。この金額をさらに上げていく努力も必要かと思えます。（就労移行支援事業）の利用者も一般企業に向けた訓練を行っています。平成26年度には企業就労が出来るように頑張っていきます。

## 就労移行支援事業のようす

平成23年12月に障害者就労移行支援事業(定員6名)が始まり3年目に入りました。1名が一般企業(現在1年11ヵ月勤続)に就労し、1名が区内A型事業所に通所しています。

現在、3名の利用者は就労に向けてそれぞれの課題、目標に向かって日々頑張っています。《学習》《実習・面談会・職能評価》の様子をとりあげて紹介します。



目黒障害者就労支援センターでの面接練習

### 《学習》

移行支援の利用者は、朝学習(8:00または8:30~9:00)、午後学習(16:00~16:30)を行い、この時間は就労に向けた特に必要な事柄を学んでいます。

1分間スピーチ、履歴書の書き方、掃除練習(掃除機、拭き掃除、掃き掃除)、パソコン(ワード打ち込み、エクセル打ち込み、家でのタイムスケジュール作成、簿記練習)、面接練習(区内企業の社長、FC理事、目黒障害者就労支援センターなどに依頼)、振り返り、自己評価、メモの書き方、小遣い帳記入、ビジネスマナー練習などを組み合わせています。

振り返りは特に重視しており毎日の作業終了後に《行った作業、よくできたと思うこと、注意されたこと、作業中気をつけたこと、明日の目標、わからないこと・自信がないこと》の6項目について記入しています。実習期間も一日の終わりに次の目標を定め、できなかったことを振り返ることでレベルアップを図っています。自己評価は記入表に個別支援計画などに記載されている課題について○×をつけて反省をしています。

月末に支援員と一緒に評価表を元に振り返り、次の月の目標設定をしています。×が多かった所が○になっていくことで自信、やる気にもつながっているようです。

### 《実習・面談会・職能評価》

今年度は、一般企業3社、目黒障害者就労支援センターにて実習を2件行いました。また、しごと財団の職場体験実習面談会に4回参加し、計15社の面談を受けました。(内2社は実習、見学を行った。)この面談会はより実際に近い実践的な面接練習になり、企業側とつながることができる収穫の多い機会になっています。また、実習をやらせてもらうことで意欲の向上や課題の克服、目指す職種の整理、企業がどんなところか確認することができます。



企業実習での終礼

以下は、2月にしごと財団で行われた職場体験実習面談会に参加した2名の利用者の感想です。

『緊張してしゃべれなかったけど、途中からよくしゃべることができました。次は目を見て話ができるようにしたいです。』

『調理の質問によく答えられた。今度本社での面接が決まったので頑張りたいです。』

2名とも働きたいという気持ちを面接で十分にアピールでき、就労に向け着々と準備を進めています。

## 就労継続支援B型事業のようす

利用者12名のF C目黒での一日の活動を紹介します。

《朝礼》9時には作業室に全員集合し約15分間、「職場の教養」の読み合わせ、挨拶、各自の目標発表、今日の予定について等を行います。

《運動》その後、約45分間「汗をかくこと」を目標にグラウンドで運動。

《作業》お昼までの約2時間と午後の2時間は作業。受注作業を行う人、厨房で作った日替わり弁当を車や歩いて配達する人がいます。午後は、配達から戻ってきた折りたたみコンテナをアルコールで綺麗に拭く仕事や厨房の掃除もします。また、赤飯やおこわ用のごま塩を小袋に入れる仕事もします。各自の力に合わせて分担して行っています。

《学習》3時から約30分間は、読み書き計算を中心に簡単な学習。言語学習を行った後、算数と国語を交代で行っています。

《掃除》自分たちの使った部屋を分担して約15分間、協力し助け合って掃除をします。

《終礼》各自着替えや反省記入後、全員で終礼。毎日2名、交代でみんなの前で今日の反省を発表します。その後は、「お疲れ様、さようなら」と挨拶して一日が終わります。



アルコールで拭きます

新年にあたって、利用者の皆さんに『今年の抱負』を書いてもらいました。一部紹介します。

『配達のを時間を忘れない。引き算を出来るようにする。マイナス志向にならない。』

『オリコンを綺麗に拭くこと。今年も休まないでF Cに来ること。』

『健康に気をつけて、元気で頑張ります。いつも大きな声で挨拶を頑張ります。』

『今年も友達とけんかをしないで仲良くする。配達の時もあせらないで行動する。』

『字を綺麗に書く。作業を正確にする。』等々。

運動や学習は、F C目黒の特徴ですが、これらは体力の維持や作業に向う姿勢等に良い影響を与えていると考えています。今年も利用者一人ひとりが目標を持ち、主体的に生き生きと作業に向い、毎日を充実して元気に過ごせるよう願っています。

## ☆☆☆休日サービス提供日の活動☆☆☆

本年度から新しい試みとして、休日サービスをスタートしました。日頃出来ないサービスを!!をかかげ月に1回、7月から合計8回開催しました。ボーリングや水族館、科学館等のF C目黒外の活動と、餃子作りや豚汁作り等F C目黒内での活動を行いました。

2月は、餅つき大会を行いました！地域の方から杵と臼を借り、もち米を潰す作業はスマイルプラザ内の他施設の方のご協力をいただき、参加利用者全員が楽しく餅つきができ、柔らかくて美味しいお餅ができました。大成功！

休日サービスを行った次の作業日は、活動内容の話で大盛り上がり。参加しなかった人にも教えてあげたりと、みんなで楽しんでいきます。

現在は来年度の活動内容を計画中！利用者の皆さんと相談して決めていきます。



ストライクを狙って



美味しいお餅ができました！

## 第三者評価を受けて

平成25年度、FC目黒では法内施設になって3年目となり、『東京都福祉サービス第三者評価』を受審しました。全体の評価は、以下の通りです。

### 《特に良いと思う点》

- 事業所として地域連携に積極的に取り組んでいる。
- 次に活かすことのできるようアセスメントシートを工夫し活用している。
- 個別支援計画を踏まえ、専門職の視点から生活・作業・就労に連動した学習・運動の取り組みを行っている。

### 《さらなる改善が望まれる点》

- 個人別育成（職員研修）計画を策定し、さらなる人材育成に期待したい。
- 手順書のさらなる整備と充実が望まれる。
- 利用者の自主性を尊重した活動の取り組みに期待したい。

これらを受け、早速改善に向け取り組んでいるところです。

苦情対応については、平成26年度から新たに第三者委員会を設置し、外部の方に窓口になっていただき、相談体制を整備していきます。

また、事業所業務の標準化を図るため、サービス全体の手引書に加え、利用者の施設内での支援や作業手順についてもさらに分かり易いように整備を進めています。職員間でも定期的な会議の他に毎日終礼を行い、情報の交換がスムーズに行えるようにしています。

利用者の自主性を尊重する活動として、朝礼・終礼の司会進行を利用者に行ってもらうようにしました。

第三者評価では、利用者の皆さんのほとんどが『満足している』と答えています。これを機会に、今後さらに利用者主体のより良いサービスを目指して努力していきたいと考えています。

\*詳しくは、『とうきょう福祉ナビゲーション』福祉サービス第三者評価をご覧ください。  
URL : <http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/>



\*イベント・サークル・会議等のお集まりに、ご予算に応じてお作り致しますので、お気軽にご相談くださいませ。

■ご注文・お問い合わせ  
電話03-5768-0707  
(9:00~17:00/土日祝休み)

## 安心・安全の厳選素材が自慢です！



宮城県産の環境保全米(減農薬)「ひとめぼれ」100%を使用。主菜は、肉または魚をメインに、和洋折衷バラエティ豊かです。

白米弁当/500円⇒515円  
赤飯弁当&山菜おこわ弁当/各600円  
⇒620円

宮城県産こがね餅米100%使用。



赤飯(220g)  
400円⇒410円



山菜おこわ(220g)  
400円⇒410円



お萩(5個入り)  
400円⇒410円

\*平成26年4月より消費税値上げのため、価格が変更になります。